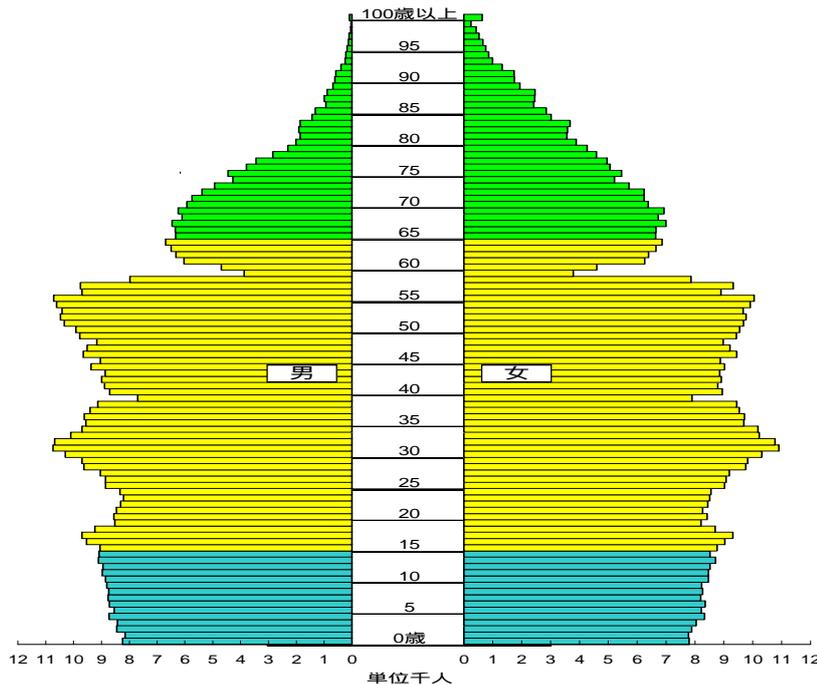


国勢調査のことをご存じですか？



沖縄県人口の年齢別構造

(平成17年国勢調査)



資料：県統計課

今年(2010年)は国勢調査が実施される年です。

国勢調査は、日本に住んでいるすべての人及び世帯を対象とする国の最も基本的な統計調査で、国内の人口や世帯の実態を明らかにするため、5年ごとに行われます。

西暦の末尾に0が付く年には「大規模調査」として実施され、西暦の末尾に5が付く年には調査事項の少ない「簡易調査」として実施されますが、

今年(2010年)の国勢調査は、大正9年に行われた我が国最初の国勢調査から数えて19回目、「大規模調査」として実施されます。

御案内のとおり、国勢調査から得られる様々な統計は、国や地方公共団体の政治・行政で広く利用されることはもとより、民間企業や研究機関などでも経営や研究などの基礎データとして幅広い用途に利用されています。また、国勢調査の結果は、将来人口推計や国民経済計算(SNA)など他の統計を作成するための最も基礎となるデータとして用いられています。

このように国勢調査は重要な統計調査ですので、国の統計に関する基本的な法律である「統計法」で、基幹統計調査としての位置付けが特に規定されており、さらに、総務大臣には国勢調査を実施することが義務付けられています。

国勢調査の内容については、10月1日の調査実施前までに今後も統計トピックスで取り上げていく予定です。

国勢調査の概要

調査期日:平成22年10月1日午前零時現在

調査対象:我が国に常住するすべての人(外国人を含む)

主な調査項目:男女の別、出生の年月、5年前の住居の所在地、就業状態、
従業地・通学地、住居の種類など

調査の流れ:総務省 - 都道府県 - 市町村 - 指導員 - 調査員 - 世帯

国勢調査「標語」作品一覧(平成22年調査～調査開始時)

平成22年 (2010年)	国勢調査は みんなで描く 日本の自画像 (一般部門)	昭和50年 (1975)	5年ごと 国と郷土をみなおす日
	未来への はじめの一步は 国勢調査 (中学生部門)	昭和45年 (1970)	一億の 明日につながる国勢調査
	ぼくたちも 大事な一人 国勢調査 (小学生部門)	昭和40年 (1965)	日本中 戸ごと人ごと国勢調査
		昭和35年 (1960)	今日を知り 明日につながる国勢調査
平成17年 (2005)	数字から 明日の日本を 夢デザイン	昭和30年 (1955)	よい調査 よい申告で よい政治
平成12年 (2000)	国勢調査あらたな世紀の基礎づくり	昭和25年 (1950)	一人残らず正しい申告
平成7年 (1995)	とらえよう 日本の鼓動を 数字から	昭和22年 (1947)	再建へ もれなく正しくありのまま
平成2年 (1990)	あい言葉“しっかり書こうね”国勢調査	昭和15年 (1940)	正しい申告 興亜の礎
昭和60年 (1985)	おさなごの 未来をたくす国勢調査	昭和10年 (1935)	有 ^ま の儘 残らず告げよ国の為
昭和55年 (1980)	人ひとり 世帯の一つが国の基礎	大正9年 (1920)	一人の嘘は 万人の実を殺す

資料：総務省

各年とも入賞作品の中から一部を掲載。